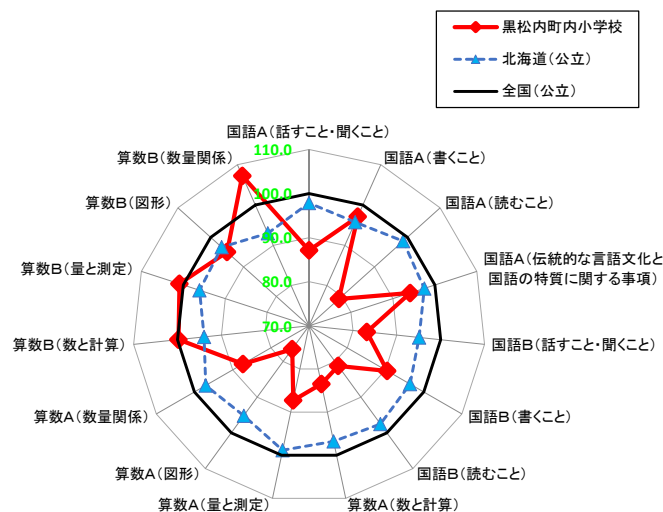


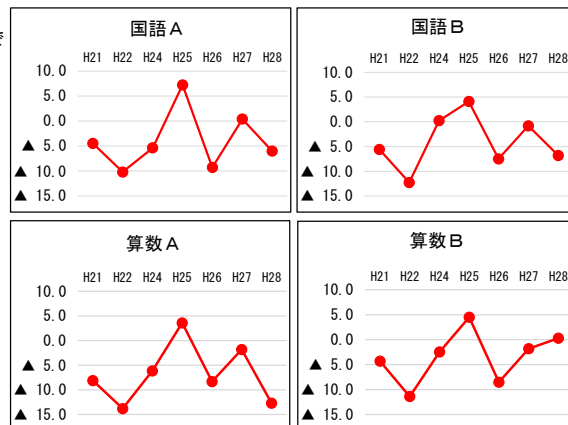
■ 黒松内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:29名)

【教科全体の状況】

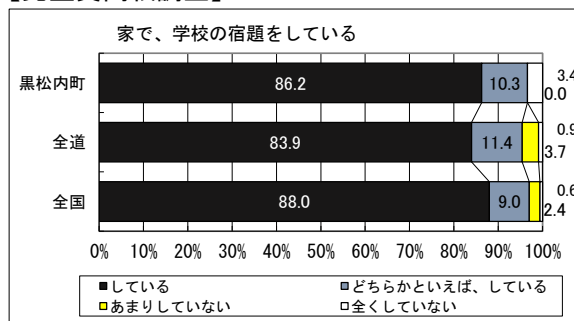
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



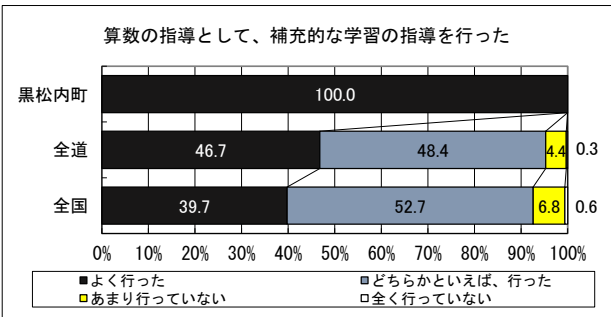
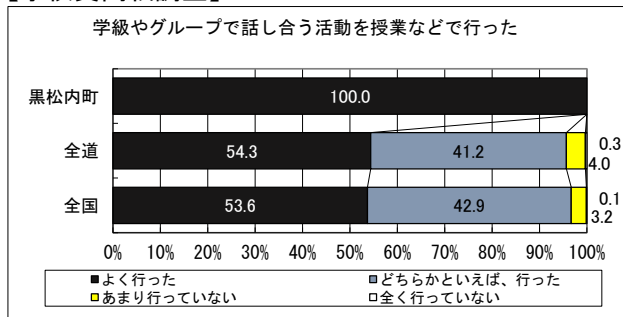
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で、全道を上回っている。 ○ 算数Bでは、「量と測定」「数量関係」で、全国を上回っており、「数と計算」で、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級やグループで話し合う活動を授業などで設定したり、補充的な学習の指導を行ったりした結果、思考力・判断力・表現力等が身に付き、算数Bの「量と測定」「数量関係」で全国及び全道を、国語Aの「書くこと」、算数Bの「数と計算」で全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で、学校の宿題をしている児童が増加し、基礎的・基本的な内容の定着につながってきており、今後は、家庭学習の質や量の改善を図る指導を工夫する必要があると考える。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「学級やグループで話し合う活動を授業などでよく行った」と回答している。 ○ すべての学校が、「算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った」と回答している。 	

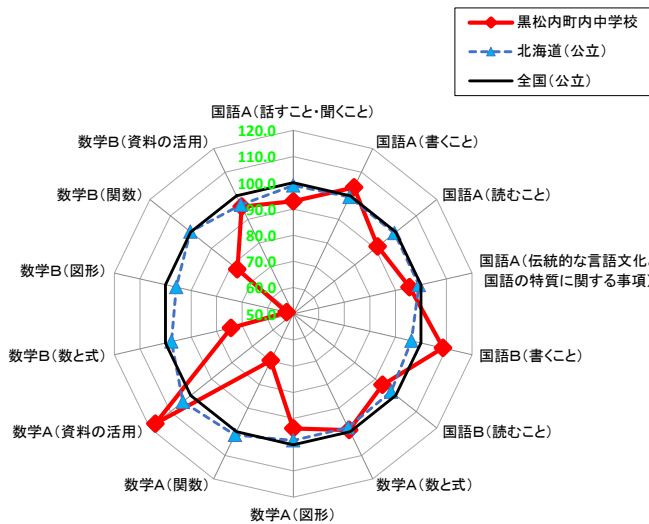
【黒松内町の学力向上策】

- ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポート充実のための学習支援員などの配置
- ◎ 国際交流協力員による外国語活動や英会話教室の実施、町独自のイングリッシュキャンプの開催
- ◎ 体験的な学習や総合的な学習の時間との関連性を明確にした教科学習の充実
- ◎ 学校だよりの発行や学校支援地域本部事業の実施などによる教育活動の発信

黒松内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:20名)

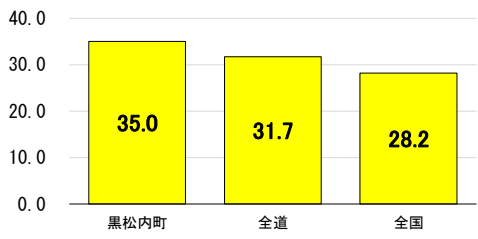
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

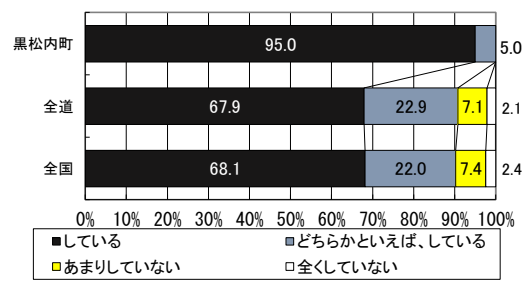


【生徒質問紙調査】

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる

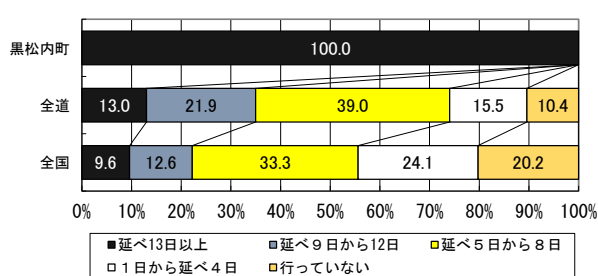


家で、学校の宿題をしている

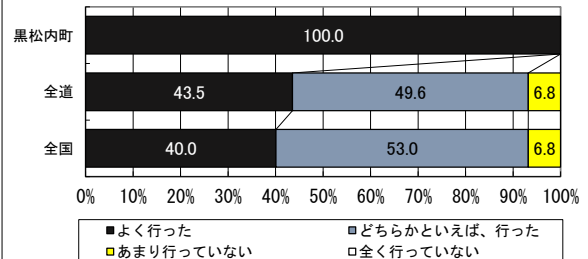


【学校質問紙調査】

長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施した



授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で、全国及び全道を上回っており、「数と式」で、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施した結果、基礎的・基本的な内容が定着し、国語Aの「書くこと」、数学Aの「資料の活用」で全国及び全道を、数学Aの「数と式」で全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた結果、基礎的・基本的な知識・技能が定着するとともに、家で授業の復習を行うなど家庭学習が習慣化し、国語Aの「書くこと」、国語Bの「読むこと」で全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「長期休業日を利用した補充的な学習サポートを延べ13日以上実施した」と回答している。 ○ すべての学校が、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的によく取り入れた」と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が生徒に、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えた結果、学習意欲が向上し、宿題をする生徒の割合が高くなったと考えられる。

【黒松内町の学力向上策】

- ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポート充実のための学習支援員などの配置
- ◎ 国際交流協力員による外国語活動や英会話教室の実施、町独自のイングリッシュキャンプの開催
- ◎ 体験的な学習や総合的な学習の時間との関連性を明確にした教科学習の充実
- ◎ 学校だよりの発行や学校支援地域本部事業の実施などによる教育活動の発信